

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2835号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

菜の花畑 (徳島県神山町)



も く じ

随
想情
報フ
ォ
ー
ラ
ム政
策

悲願！三坂道路開通に想う……

町村Navi……

「地域の元気創造本部」を設置―自治体を核に資源と資金で事業を推進―Ⅱ総務省Ⅱ……

大自然と明治の風景に彩られたまち 小坂町

Ⅱ「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」の推進にむけてⅡ秋田県小坂町……(5)

愛媛県久万高原町長 高野 宗城……(11)

……(9)

●写真募集●

表紙に掲載する写真を募集しています。採用者には、粗品を差し上げます。

写真には撮影者の住所、氏名及び撮影場所・日時を明記して下さい。なお、採否は当方に一任願います。

送り先：全国町村会・広報部

コラム

面取り

読売新聞東京本社論説委員
コラム『編集手帳』執筆者たけうち まさあき
竹内 政明

料理に「面取り」という工程がある。野菜が煮崩れしないよう、切ったカドを薄くそぎ取ることをいう。

野菜に限るまい。組織のなかで、ときに人間も煮崩れする。新聞社に勤務した経験をお持ちの歌人、松村由利予さんに煮崩れの歌があった。

大きな鍋の一つが会社とは煮崩れぬよう背筋を伸ばす

入社したときには胸に抱いていたはずの夢や、自分ならではの個性が、会社組織の大鍋にグツグツ煮られているうちにいつしか溶けだし、形をなくしていく。歌われている「煮崩れ」とはそういうことだろう。

わざとカドを丸くすることで、カドを保護する。料理の「面取り」には、処世に転用できる知恵も含まれているようである。さあ、これが俺の個性だ、文句があるか……と肩ひじを張っているのは、かえって煮崩れてしまう。自分というもの

をほどほどに殺すことで、自分らしさの命脈を保つ。人間の場合は野菜以上に、包丁さばきがむずかしい。

若い人が社会に巣立つ春である。「団塊の世代」が大量に退職したあとを引き受け、いずれは鍋奉行として伝統の風味を受け継ぎもし、一新する人たちがだろう。ともあれ、いい味に、と祈る。

鍋の中で背筋を伸ばしつづけるのも、それはそれで疲れるものである。勤め人の生息を詠んだ歌では、岡野弘彦さんの一首も胸にしみて忘れがたい。

人はみな悲しみの器。頭を垂れて心ただよふ夜の電車に

わが経験に照らせば、社会に出て知り合う人間の三人に一人は嫌なヤツだし、降りかかる出来事の二つに一つは理不尽である。愚痴をサカナに赤ちようちんの苦い酒を飲み、「バカヤロ……」とつぶやいては終電のつり革にすがって眠る。ときには、そういう夜もあるだろう。

政策解説

「地域の元気創造本部」を設置＝総務省＝ ―自治体を核に資源と資金で事業を推進―

総務省は、地域活性化を検討する省内横断的組織として「地域の元気創造本部」を設置した。昨年末の衆院選による政権交代を経て発足した、第2次安倍政権が取り組む日本経済の再生と、その実現に向け打ち出した「三本の矢」の一つである成長戦略を地域活性化の視点から後押しするのが狙いだ。そのため、全国各地にある資源と資金を1719の市町村が核となつて結び付け、持続可能な事業を可能にする仕組みづくりを目指す。

「イノベーション」と「新しい公共事業」の2本柱

「日本を元気にするため単なる提案だけではなく、実際に事業を運営していきたい」。2月8日に行われた日本の元気創造本部の発足式で、本部長を務める新藤義孝総務相は抱負を語った。

創造本部には、本部長の下に副大臣と政務官が務める本部長代理と、事務次官と総務審議官が務める副本部長がそれぞれ置かれている。また官房長と官房総務審議官、政策統括官、地域力創造審議官、関係局長らで本部員を構成し、自治行政局の地域政策課に事務局が置かれている。同課は情報流通行政局地域通信振興課などと連携する。

国内を見ると、地方の人や資源、資金は東京を代表とする大都市部に

流出し、人口減少と過疎、少子高齢化による働き手不足で活気がなく経済も疲弊している地域が少なくない。総務省の資料によると、2005年から10年までの人口増減率では大都市がある東京都(3・6%増)、神奈川県(2・8%増)、愛知県(2・5%増)が上位3位を占めたのに対し、大都市から離れた秋田県(4・8%減)、青森県(4・3%減)、高知県(4・0%減)が下位3位だった。09年度の1人当たり県民所得でも東京、大阪、名古屋の三大都市圏は307・0万円だったのに対し、地方圏はその約8割の250・3万円と引き離されている。

創造本部の主要な検討課題は、疲弊した地域の活性化につながる各地の取り組みをどうやって支援するかということだ。そのための柱として①「地域イノベーションサイクル」

を全国各地で展開②地域活性化のための新しい計画的な公共事業の実施―という2本の柱を掲げている。

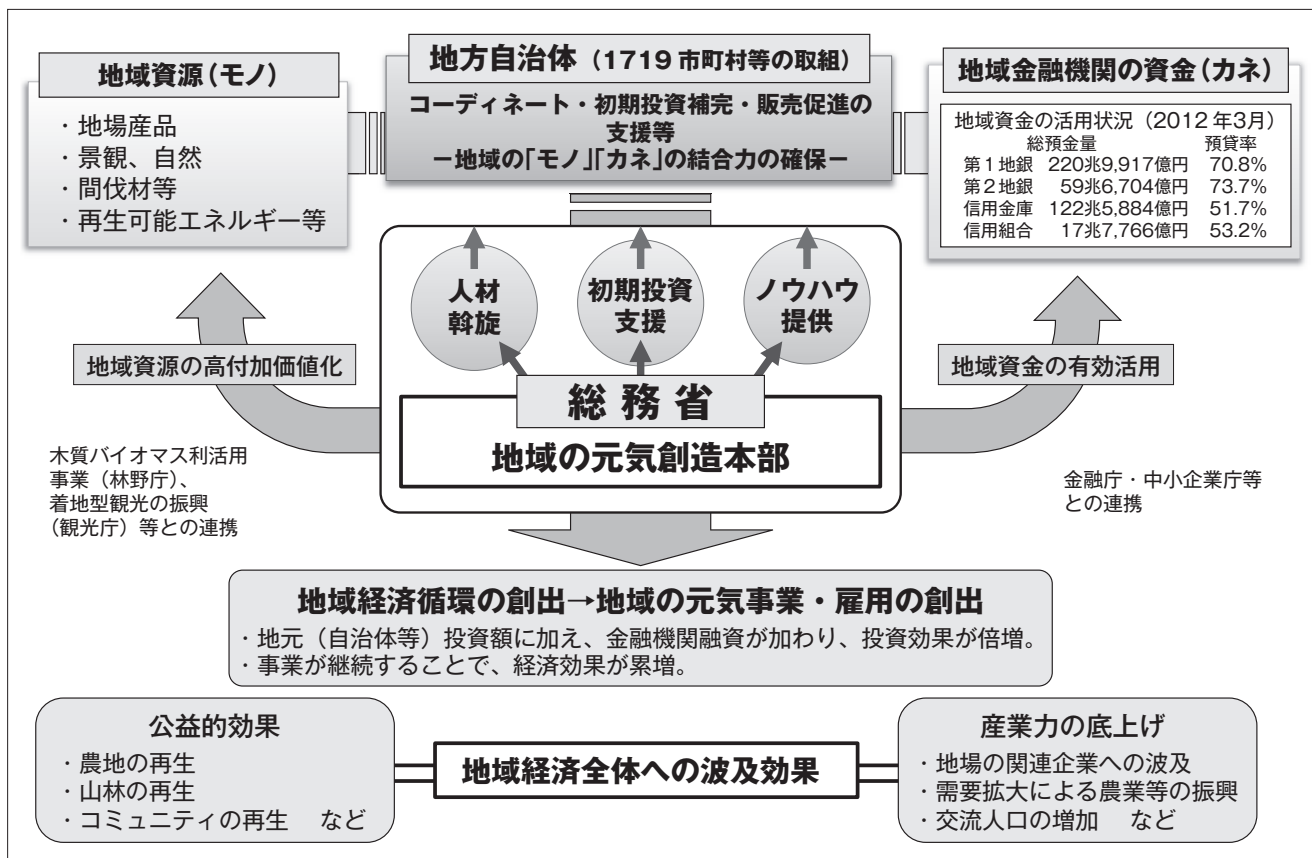
現在も各地で、さまざまなまちおこしや経済活性化の取り組みは行われている。その中には、高齢者が集めた葉っぱを商品として料理店などに販売する「葉っぱビジネス」が成功した徳島県上勝町や、財政危機をきっかけに役場の職員が町の生き残りを懸けて積極的に特産品を町外へ売り込み、町の取り組みに共感した若者がイターンで定住するようになった島根県海士町のように全国的な注目を集めるケースもある。しかし、全てが成功しているわけではない。例えば、大企業の誘致に成功しても不景気の影響で大企業が撤退してしまうと、その地域は経済振興や雇用などの効果が失われて立ちいかなくなる。企業誘致のため交付金や補助金を出す自治体では、福岡県や兵庫県などのように誘致した企業や工場が早期に撤退などした場合、返還を求める規定を要綱や要領に明文化したところも出てきた。

各地に「産学金官」の円卓会議

そこで総務省は、全国各地にある伝統工芸や観光など独自の資源を生

政 策

■参考 地域経済イノベーションサイクルの全国展開について



かして地域活性化の事業の実現を目指す自治体を創造本部で支援することにした。柱の一つである地域経済イノベーションサイクルとは、各地に地元の企業、大学、金融機関、自治体による「産学金官」の地域ラウンドテーブル(円卓会議)をつくり、そこで地域の資源を発掘、再生して人材や産業、資金を活用しながら事業化に結び付けようという仕組みだ。事業を始めた後は実績を検証し、検証結果や蓄積したノウハウなどはデータベース化してラウンドテーブルにフィードバックする。この仕組みの全国展開を目指す。

自治体は雇用の場の減少や遊休地の増加、企業は収益性の低下、大学は地域貢献、金融機関は貸出先の不足といったように、産学金官はそれぞれ課題を抱えていると考えられる。ラウンドテーブルでは、自治体を中心となつて関係機関が資源の掘り起こしと事業者間の調整、マーケティング、資金援助、専門知識の提供などを行う。こうして地域の特徴を生かした新事業を創出し、課題を解消するとともに地域に活気を取り戻そうというのが狙いだ。

総務省による同様の事業は今回が初めてではない。民主党政権時代の2009年12月に設置された「緑の

改革推進本部」がそれに当たる。当時の民主党政権は、地域主権を政策の「一丁目一番地」としてアピールしていた。緑の分権改革推進本部は、エネルギーや食料をはじめとする地域の資源を活用する仕組みを自治体と市民、民間組織などが連携して事業化につなげ、中央集権型の社会構造から地域主権型社会への転換を目指していた。

緑の分権改革推進本部でも、地域活性化につながる事業の発掘などが行われてきたが、実施に移す段階で「人材や資金などの面で制約があり実現しないものもあったのではないかと」総務省関係者は振り返る。

昨年3月時点の地域金融機関の資金状況をみると、総預金量で第1地方銀行は220兆9917億円、第2地方銀行は59兆6704億円、信用金庫は122兆5884億円、信用組合は17兆7766億円に上る。預金に対する貸出金の割合を示した預貸率では、第1地銀が70.8%、第2地銀が73.7%、信金が51.7%、信組が53.2%。預貸率が100%を下回るほど資金に余裕がある状態とされることから、地域金融機関は資金を活用できる余地がまだあるといえそうだ。

政 策

地域の資金を有効活用

一方で、これまで地域おこしの事業に取り組んできた人々や民間団体などは、事業規模が小さいため地域金融機関から資金を調達しにくかった点が障害になっていた。地域の元金創造本部は、「使われず地域にとどまっている金融機関の資金」（総務相）の有効活用により、融資を受けにくかった小規模事業を支援しようという点で、緑の分権改革をもう一段進化したものといえる。各地で事業化に必要な人材、資金、専門知識が確保できない場合は、国が支援、提供する体制を構築する方針だ。

事業の推進に当たっては、まず金融庁や中小企業庁などとの連携が想定される。対象となる地域資源も地元の特産品から自然、史跡名勝等の観光、間伐材、太陽光や水力、地熱を利用する再生可能エネルギーなど多岐にわたる。間伐材を使った木質バイオマスの利活用事業なら林野庁、観光振興なら観光庁、このほかにも環境省や国土交通省、農林水産省など、総務省だけで対応できない事業分野は他省庁と連携して取り組む。

地域経済イノベーションとともに、もつ一つの柱である新しい計画的な

公共事業については、現時点で具体像ははっきりしていない。道路や橋の新設、高度経済成長期に造られ現在は老朽化したインフラの改修と長寿命化といったような従来型の公共事業ではなく、過疎地や離島の活性化の観点から、計画的な公共事業の在り方を検討するという。総務省は関係省庁との連携や政府全体での検討も視野に入れている。

骨太の方針、14年度予算要求に反映

本部には、有識者から意見を聞くため「地域の元金創造有識者会議」も設置した。メンバーは楓千里・JT Bプリッシング執行役員、柏木孝夫・東京工業大教授、隈研吾・東工大教授、後藤春彦・早稲田大創造理工学部長、坂村健・東京大大学院教授、島康子・まちおこしゲリラ集団あおぞら組組長、中嶋健造・NPO法人土佐の森・救援隊事務局長、中村香代・株式会社和香紗代表取締役、西澤隆・野村アグリプランニング&アドバイザリー社長、藤波匠・日本総合研究所主任研究員、堀田聡子・独立行政法人労働政策研究・研修機構研究員、本田桂子・マッキンゼー・ディレクター、山崎亮・京都造形芸術大教授の13人。

「いろんな観点から検討が深まる」（総務相）ことを期待して、女性を5人含むほか年齢層は30代から60代にわたり、観光をはじめまちづくり、定住自立圏構想、医療・福祉、金融、企業、ICT（情報通信技術）、再生エネルギーなど幅広い分野から専門家を集めた。

有識者会議では、メンバーがそれぞれの専門分野の視点から成長戦略につながる地域活性化策などについて意見交換する。2月15日に初会合、3月11日に第2回会合が開かれた。今後はだいたい毎月1回のペースで開催し、会議での意見を踏まえて5月か6月までには具体策を盛り込んだ総務相のプランを取りまとめる予定だ。

第2次安倍政権では、民主党政権時代は開かれていなかった経済財政諮問会議が復活した。国の経済、財政の中長期的目標となる「骨太の方針」も6月に策定する。総務省はプランの内容を経済財政諮問会議での議論だけでなく、骨太の方針や14年度予算の概算要求などにも反映させたい考えだ。

（時事通信内政部記者 日高広樹）

季節の俳句カレンダー

馬の貌長くさびしき春の昼

森下草城子

季語は「春の昼」。「春」に「昼」がつくと明るくどかな雰囲気のある一方で、なんとなく物憂い感じもして、この句の中七の「長くさびしき」をうまく受け止めている。また「貌」の字を使われたことにも意味がある。単に動物の顔ではなく、人間ならば表情と表現したいところと思う。「馬耳東風」とは漢詩を原点とした言葉だが、それも言っちゃおれないよ、と詠まれているようでもある。「東風」も春の季語であり、まんざら無関係ではなさそうだ。

何食わぬ顔ぶらさげて花馬酔木

望月哲士

季語は「花馬酔木（あせび）」。小さな白い花が房状に咲く常緑低木で、春の里山の一景となる。穏やかな樹木だが葉にも茎にも毒性があり、煎じた液が菜園、植物園などで防虫用に使われることもある。馬が食べると麻薬を飲ませたような仮眠状態になることから「馬酔木」と呼ばれるようになったといわれる。

そんなことを言われても「何食わぬ顔」といえるほどにおとなしい白い花を咲かせている様子を「顔からさげて」とは言い得て妙と思う。

夕桜ひと日の重さ揺らしけり

宮地瑛子

季語は「夕桜」で、満開の桜の夕方の様子と見ればいいだろう。花見時に満開を楽しむのはほんの数日であり、桜の華やきを求める人がそこに集中するのは言わずもがなのこと。

公園や桜並木の下では、夕方ともなれば勤めを終えた人も加わって花見客があとを絶たない。それを「夕桜」の側から見れば、「一日中にぎわった上に夕方また……」と言いたいような状態であり、それを「ひと日の重さ」と表現され、さらに「揺らしけり」と強調されているのも俳句的。

フォーラム

小坂町の概要

小坂町は、秋田県の北東端、北東北三県（秋田県・青森県・岩手県）のほぼ中央に位置しており、気候は山間盆地特有の内陸型で、積雪寒冷地となっ

歴史的背景…
鉱山とともに歩んできた町

当町は、文久元年（1861年）に小坂鉱山が発見されて以来、経済や文化も鉱山産業とともに発展し、明治初期より鉱山の町としての歴史を歩んできました。

しかしながら、昭和60年代の急激な

面積は、明治4年の廃藩置県以来、決まっていなかった十和田湖の境界が平成20年12月に決定し、現在は201.95㎢となっています。

ています。また、町土の約7割が森林であり、多くが国有林で占められています。町の中央部には米代川の支流である小坂川が流れ、北東部には国の特別名勝・天然記念物に指定されている十和田八幡平国立公園の十和田湖があり、日本でも有数の自然に恵まれた地域です。

現地レポート

町村独自の
まちづくり

大自然と明治の風景に

彩られたまち 小坂町

「明治百年通りにぎわい創り

プロジェクト」の推進にむけて



秋田県 小坂町

△新緑の十和田湖

◁明治41年頃の小板町全景



円高や鉱量の枯渇等により、小板町内の鉱山は統廃合や閉山が相次ぎ、小板町の経済に大きな打撃を与えました。

現在は、古くから培われてきた鉱業技術を活用し、環境リサイクル産業へ転換が図られ、世界的視野での資源循環型産業として、発展を続けています。

今の小板町が誕生するまでには、明治21年の市町村合併で小板村と小板鉱山が合併して小板村になり、大正3年に町村合併が施行されました。昭和30年の市町村合併で小板町と七滝村が合併して新たな「小板町」となりました。



△「康楽館」和洋折衷の木造芝居小屋としては日本最古

その後、昭和47年に当時の十和田町、花輪町、尾去沢町、八幡平村との市町村合併（現鹿角市）や、平成15年の鹿角市や大館市との市町村合併が検討されましたが、いずれも合併しないことを選択しました。現在は鉱山の歴史・文化が息づく町としての特色を活かし、さらなる発展に取り組んでいます。その中でも特に力を入れたのが国指定重要文化財である「康楽館」や「小板鉱山事務所」等の歴史的建築物の保存活用です。明治時代の小板町をイメージして町民が手作りで整備してきた「明治百年通り」は、鉱山文化がもたらした歴史文化と季節ごとの美しい花々などの自然とが調和した癒しの空間となっています。



△明治38年に建設された「小板鉱山事務所」

平成13年度には環境省から「かおり風景100選」に平成17年度には国土交通省より都市景観大賞「美しいまちなみ賞」さらに平成18年度には町民が手作りで取り組んできた事業が評価され国土交通省から「手づくり郷土賞「地域整備部門」」を受賞しました。

交流人口拡大に向けた課題

現在の小板町は産業構造の変化により労働者層が減少し、町の定住人口が年々減少していることから、定住人口を基本とし

て町の振興策を考えることは非常に難しい状況にあります。

既存の観光資源である国立公園「十和田湖」や国指定重要文化財の「康楽館」「小板鉱山事務所」を核として観光による町内交流人口の拡大を図ってきましたが、国内全体に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の影響等により交流人口は大きく落ち込みました。このような現状から、交流人口の拡大を図り、地域の雇用・経済活動に結びつけることが喫緊の課題となっています。



▷町民が手作りで整備してきた「明治百年通り」

フォーラム

旧小坂鉄道の利活用を核とした新たなにぎわい創出へ

小坂鉄道は明治41年に大館・小坂間に全長22・3kmで開通し、明治42年には小坂鉄道株式会社の発足とともに一般運輸営業が開始され、鉱山の発展とともに歴史を刻んできました。

しかし、車社会の到来とともに利用者が減少の一途をたどり、永年にわたり地元住民の交通手段として親しまれてきた旅客部門が平成6年9月30日に廃止されました。次いで開業100年

の節目となる平成20年に貨物の運行が休止となり、ついに平成21年4月1日をもって、その長い歴史に幕を閉じました。

町は平成21年4月1日で廃線が見込まれた時点で小坂鉄道を新たな観光資源として活用するための検討を始めました。平成20年12月に小坂鉄道利活用庁内検討会議を発足させ、平成21年3月には調査報告書を取りまとめました。調査報告書では、鉄道試験線としての利活用が望ましいとなりましたが、実現には至りませんでした。その後沿線で隣接する大館市とも協議を行いながら模索を続け、平成23年3月には「旧小坂駅保存活用基本計画報告書」を作成、さらに見直しを図り平成23年10月には今のプロジェクトの原形となる「明治百年通りにぎわい創出基本計画書」の完成に至りました。

この計画を基にした交流人口の拡大へ向けて、平成24年4月から役場の観光産業課へ新たに「にぎわい創出班」を創設し、課題解決へ本格的に取り組むこととしました。平成24年度から一部先行して整備が始まった国の交付金事業である「都市再生整備事業」に追加する形でソフト面での充実化を図り、最終的に既存の観光資源と旧小坂鉄道の観光活用を組み合わせる「明治百年通りにぎわい創出プロジェクト」を策定しました。

このプロジェクトは、平成24年12月

＜多くの鉄道ファンや子供達でにぎわう「小坂鉄道まつり」＞



旧小坂鉄道を活用して体験型交流

25日に実施された秋田県知事へのプレゼンテーションにより計画が認定され、県の交付金事業の「秋田県市町村未来づくり協働プログラム」として支援が決まりました。都市再生整備事業と合わせて平成24年度から平成28年度までの5年間で鉄道関連施設を中心とした観光資源の整備をしていくこととしています。

廃線となった小坂鉄道は愛好家等に

＜レールバイクの運転体験＞



よって自主的な保存活動が湧き起こり「小坂鉄道保存会準備室」が平成21年12月に立ち上がりました。毎年10月には「鉄道の日」に合わせて「小坂・鉄道まつり」を行い、魅力を発信し続けてきました。

小坂・鉄道まつりは駅構内でディーズル機関車内の見学、駅構内のガイド付き案内のほか、平成24年の鉄道まつりでは体験型として初めてトロツコ乗車体験を行いました。また、明治百年通り沿線では、子供からお年寄りまで気軽に楽しめるレールバイクの運転体験を行い、今後の本格的な整備に向け

▷「明治百年通りにぎわい創出プロジェクト」を認定

右「秋田県知事」左「小坂町長」



フォーラム

て来場者へアンケートを実施し、貴重な意見を多数いただきました。

また、町の花である「アカシアの花」が咲き誇る6月の第2土日には毎年「アカシアまつり」が開催されますが、平成24年に初めて協賛イベントとして車両の展示やレールバイクの運転体験を開催したところ、大きな反響をいただきました。

平成25年10月 小坂レールパークプレオープン

平成25年10月1日から12月31日まで
秋田県において大型観光キャンペーン

「秋田DC」が開催されます。この「秋田DC」に合わせて当町でも様々な企画を用意していますが、その中の一つが旧小坂鉄道の「小坂レールパーク」（仮称）としてのプレオープンです。これまで実施してきた「小坂・鉄道まつり」に合わせて、より充実した体験メニューを提供できるように準備を進めているところです。鉄道ファンはもとより、北東北へ立ち寄った際には是非小坂町へ足を伸ばしていただき、明治百年通りの景観や小坂鉄道の有姿を見て新たな町の「にぎわい」を体感していただければ幸いです。

小坂町長 細越 満



都道府県別市町村数

(平成25年4月1日現在)

都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計
北海道	129	15	144	35	179	富山県	4	1	5	10	15	岡山県	10	2	12	15	27
青森県	22	8	30	10	40	石川県	8	0	8	11	19	広島県	9	0	9	14	23
岩手県	15	5	20	13	33	福井県	8	0	8	9	17	山口県	6	0	6	13	19
宮城県	21	1	22	13	35	長野県	23	35	58	19	77	徳島県	15	1	16	8	24
秋田県	9	3	12	13	25	岐阜県	19	2	21	21	42	香川県	9	0	9	8	17
山形県	19	3	22	13	35	静岡県	12	0	12	23	35	愛媛県	9	0	9	11	20
福島県	31	15	46	13	59	愛知県	14	2	16	38	54	高知県	17	6	23	11	34
茨城県	10	2	12	32	44	三重県	15	0	15	14	29	福岡県	30	2	32	28	60
栃木県	12	0	12	14	26	滋賀県	6	0	6	13	19	佐賀県	10	0	10	10	20
群馬県	15	8	23	12	35	京都府	10	1	11	15	26	長崎県	8	0	8	13	21
埼玉県	22	1	23	40	63	大阪府	9	1	10	33	43	熊本県	23	8	31	14	45
千葉県	16	1	17	37	54	兵庫県	12	0	12	29	41	大分県	3	1	4	14	18
東京都	5	8	13	26	39	奈良県	15	12	27	12	39	宮崎県	14	3	17	9	26
神奈川県	13	1	14	19	33	和歌山県	20	1	21	9	30	鹿児島県	20	4	24	19	43
山梨県	8	6	14	13	27	鳥取県	14	1	15	4	19	沖縄県	11	19	30	11	41
新潟県	6	4	10	20	30	島根県	10	1	11	8	19	合 計	746	184	930	789	1,719

今さら聞けないメタボリックシンドローム

メタボって何？

フリーライター 山崎ひろみ

ダムが決壊する直前の状態

もう、すっかりおなじみになった「メタボリックシンドローム」という言葉の意味を正確に知っている人は、意外に少ないものです。「今さら聞くのも恥ずかしい」という方のために、メタボリックシンドロームとは何か、少しおさらいしておきましょう。

「メタボリックシンドローム」の英語本来の意味は「代謝症候群」ですが、厚生労働省は日本語で「内臓脂肪症候群」と呼んでいます。内臓脂肪のたまり過ぎによって、代謝異常が起こり、高血糖、脂質異常、高血圧が引き起こされる状態で、これらのリスク（危険）因子が重なると、動脈硬化性の病気で生命の危機を招くこととなります。

ここでキーワードになるのが、「内臓脂肪の蓄積」「リスクの重複」「動脈硬化」です。

それぞれのリスクは、単独であれ

ば心筋梗塞など命にかかわる病気（冠動脈疾患）になる危険性が五パーセント程度です。しかし、腹囲ブラス高血圧など二つ以上のリスクが重なると、その確率が三五パーセント前後まで上がってしまいます。

ダムを想像してみてください。上流の川から少しずつ水が流れ、ダムに水がたまって、ある限界を超すとダムが決壊します。この、ダム決壊の直前がメタボの状態です。

診断基準はあくまでも目安

メタボの診断基準は、日本では二〇〇五年に日本内科学会など八つの学会が合同で決めたもので、現在は表のようになっています。

キーワードの一つ、「内臓脂肪の蓄積」を数字にしたのが腹囲（おへそ周り）で、現在は男性が八五センチ以上、女性が九〇センチ以上、となっています。女性の方が腹囲の基準が大きいのは変だと思う方も多いかもしれませんが、統計では女性

皮下脂肪が多く内臓脂肪面積が小さいため、このような数字になったのです。今後、研究が進む中で基準が変わることもあります。

いずれにしても腹囲が基準をオーバーして、なおかつ高血圧、脂質異常、高血糖のうち、二つ以上が重なったときメタボリックシンドロームと診断され、一つだけなら「メタボ予備軍」と呼ばれます。

この基準はあくまでも「目安」であって、基準以下だから大丈夫ということにはなりません。とくに腹囲は、それ自体が問題なのではなくて、「内臓脂肪の蓄積」が問題なのだということを忘れないでください。やせ形で腹囲が基準以下でも内臓脂肪がたまっている人はたくさんいるからです。

子どもにもメタボの基準がある

中年以降にメタボになる人が多く、四〇〜七四歳の日本人では、予備軍を含めると男性の二人に一人、女性の五人に一人がメタボといわれます。

そのため、二〇〇八年四月から、日本では特定健診制度（糖尿病などの生活習慣病に関する健康診査）が始まりました。四〇歳から七四歳までの中高年健康保険加入者を対象に

特定健診が行われ、メタボの場合は保健指導が行われます。

しかし、四〇歳未満でもメタボになる人はいます。実際に、子どもにも肥満が増えていることから、厚生労働省の研究班は六〜一五歳を対象としたメタボの診断基準を作り、肥満予防を呼びかけています。基準の一つとなる腹囲は、中学生で八〇センチ以上、小学生で七五センチ以上、もしくは「腹囲（cm）÷身長（cm）×〇・五以上」というもので、血液検査の数値もそれぞれ定められています。

四〇歳になるのを待たずとも、メタボ予防が大切だということがお分かりいただけたでしょうか。

内臓脂肪型肥満

（腹囲 男性85cm以上、女性90cm以上）

＋
プラス

高血糖	脂質異常	高血圧
空腹時高血糖 ≥110mg/dl	中性脂肪 150mg/dl 以上	収縮期血圧 130mmHg以上
	HDLコレステロール 40mg/dl 未満	拡張期血圧 85mmHg以上

（日本内科学会雑誌、94（4）：794-809.2005より一部改変）

随 想

随 想

悲願！三坂道路開通に想う

愛媛県久万高原町長 高野 宗城



久万高原町は四国の中央部に位置

し、温暖なイメージの愛媛県にあつて、四国の軽井沢などとも呼ばれ、春の新緑、秋の紅葉はもちろん、夏は避暑地として、また冬はウィンタースポーツで賑わうなど、四季折々の楽しみ方ができる自然豊かな町です。面積は県下最大の584km²で、そのうち山林が9割近くを占めるため、人口は1万人ほどとなっていますが、農林業が盛んな元気な町です。

さて、今から1年ほど前の平成24年3月17日、久万高原町と県都松山市を結ぶ住民悲願の「三坂道路」が開通いたしました。ここに至るまでの道程を想うとき、郷土の発展に懸けた先達の情熱に、深く頭を垂れるほかありません。

「三坂越えすりゃ雪降りかかる
もとりゃ妻子が泣きかかる
むづいもんぞや久万山(明神)馬子は

三坂夜でて夜もどる」

これは「旧土佐街道最大の難所」と言われた三坂峠の、当時の情景を伝える「三坂馬子唄」の一節です。この時代に、重荷を引いて三坂峠を越えることは、過酷で命がけの労働であったことが窺えます。

明治に入って、上浮穴郡長の松垣伸氏らが中心となり道路建設事業に奔走され、同25年に現在の国道33号の前身となる四国新道が完成しました。その後改修を重ね、昭和42年には国道33号全線が舗装改修され、松山市と高知市を結ぶ最短幹線道路として愛媛・高知両県の産業経済の発展に大きく貢献してきました。

しかしながら、昭和の後期になっても三坂峠が国道33号最大の難所であることに変わりはありません。標高720mの頂上付近は急勾配に加え急カーブが連続し、冬季の積雪凍結時には相

変わらず命がけです。このような状況の中、上浮穴郡の5町村、議会、住民の働きかけなどにより、昭和60年に愛媛県・高知県の沿線市町村による「国道33号整備促進期成同盟会」が組織され、懸命に要望活動を行いました。そして、地元選出国會議員、県議會議員の方々の力強いご支援と国土交通省、愛媛県並びに地元地権者の方々の格別なご協力を得て、平成8年に待望の事業化が決定しました。それから16年の時を経て、昨年3月の開通に至ったのでございます。

前述の松垣氏は道路整備を行っただけではなく、四国横断鉄道の必要性を説き、凶荒予備組合の基を築き、植林を推進するなど郷土の発展に特別な想いで尽くされました。氏は晩年「自分は上浮穴郡長として赴任して以来、力の限りを尽くしたが、ついに四国横断鉄道の開通を見ることはできなかった。私にとっては少しも心残りはないが、死んでからも骨を久万の地にとどめて、生ある間に成し遂げられなかったことが、成し遂げられる日を見たい。」と語ったと言われています。

明治25年の四国新道の竣工から120年が経ちました。松垣氏が、開通した三坂道路を見たらどう思うでしょうか。

三坂道路は、標高390m付近から頂上の720m付近にかけて連なる急カーブ急こう配の区間を回避し、新たに自動車専用道路を造ったもので、全長7.6kmのうち4.4kmがトンネル、残りのほとんどの区間が高架橋となっています。120年前にはなかった技術でトンネルと高架橋を組み合わせ、三坂峠を通ることなく町外に行き来することが可能となりました。つまり、難所が消えたということです。これにより、町の中心部から松山インターチェンジまでわずか30分ほどとなりました。四国横断鉄道は未だ運行されていませんが、松垣氏の夢は、この三坂道路と高速道路を組み合わすことで、ほぼ実現したと言っているのではないのでしょうか。

多くの方の「志」と「努力」で現実のものとなった「三坂道路」。この財産をまちづくりに活かすことが先達の意志を継ぐことであり、私の使命であると肝に銘じたいと思います。

四国・久万高原町には、西日本最高峰の石鎚山やその裾野に溢れる清流を集めた面河溪谷、また日本三大カルストのひとつである四国カルストなど、全国に誇れる美しい自然があります。皆さまぜひ一度ご覧下さい。



車両共済(保険)のご案内

(自動車総合保険の車両保険)



この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

- 無事故による割引で新規から **33% (保険料) 割引**
(ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- 集団扱年一括払いによる割引で更に **5%**
- 保険料分割払(12回)も選択可能です。
(保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。)

さらに

無料ロードサービスがついてきます。
ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードサービス専用デスクにご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。
●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

◎1年間事故が無かった場合は、翌年の等級は1等級上がります。
事故によって車両共済(保険)をご利用された場合は、事故件数1件につき3等級下がります。

契約条件と掛金(保険料)例

- ・自動車総合保険(損保ジャパン) 保険期間1年
- ・自動車保険集団扱年一括払による割引5%適用。

車名	フィット
型式	GE6
初度登録	平成23年2月
年齢条件	26歳以上補償
運転者限定	本人・配偶者限定
記名被保険者	30才
新車割引	有
共済(保険)金額	150万円
払込方法	集団扱年一括払



加入タイプ	自己負担額(免責金額)なし	自己負担額(免責金額)5万円
一般条件(割引適用済)	56,400円	42,710円
(通常・新規で加入する場合)	79,970円	60,570円
車対車+A(割引適用済)	25,040円	18,960円
(通常・新規で加入する場合)	35,500円	26,880円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のものです。保険料は平成23年4月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したものです。
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

株式会社 千里 (取扱代理店)

- フリーダイヤル **0120-731-087** (受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)
お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- FAX番号 **03-3519-7325**
- ホームページアドレス **http://www.chisato-ag.co.jp**
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)または損保ジャパンにお問い合わせください。

〔車両保険引受保険会社〕(株)損害保険ジャパン

[SJ10-13443(2011.3.18作成)]